



## 1 基本理念

### (1) 基本理念

# 「学びと出会い 夢かなう まち」

## —マイ・キャンパス・ののいち—

野々市町では「野々市町総合計画21」を平成13(2001)年3月に定め、「にぎわいとやすらぎに満ちた快適・文化都市」をテーマに、

- 「人が集う魅力ある都市(まち)」
- 「緑に包まれた暮らし心地のよい都市(まち)」
- 「思いやりに支えられる心やさしい都市(まち)」
- 「元気で楽しく暮らせる都市(まち)」
- 「だれもが参画できる都市(まち)」

の実現をめざしています。

野々市町は、県内、全国から多くの人や情報が集まる「まち」です。子どもから大人まで、自らの楽しみを発見し、一人ひとりが積極的に学ぼうと思えば、多様な学びが創造できる「まち」です。そして、その学びは仲間の励まし、地域社会の温かさや魅力にふれることにより継続的かつ質の高いものとなっていきます。また、培った知識や技術を「まち」の中で生かすことで、生きがいや出会い、新たな学びが生まれます。

こうしたことから、野々市町教育ユニバーサルプランの基本理念を

「学びと出会い 夢かなう まち」とし、

- 一人ひとりの学びが多くの人との出会いによって  
一人ひとりの夢がかなう「まち」
- 仲間同士の学び合いが多くの人々の共感を得ることによって  
みんなの夢がかなう「まち」

—マイ・キャンパス・ののいち—

- まち全体が学びの空間となる「わたしのまち」ののいち

をめざします。

## (2) 生涯学習社会におけるユニバーサルデザイン

「ユニバーサル」とは、

「宇宙に関するさま」「全世界にわたるさま」「全人類にかかわるさま」

という地球規模の広い範囲を表す意味もありますが、

「一般的」 「普遍的」 「万人にかかわるさま」

という意味があります。

教育は、学校だけで行われるものではありません。学校の教育には限界もあります。家庭での教育、地域社会のすべての人々がかかわることができる教育があって、子どもたちは健やかにたくましく、心豊かに育つことができます。

さらに、教育は子どものためにだけあるわけではありません。社会教育では、広く幼児から高齢者までを対象にした学習を展開しています。学校教育も施設の地域住民への開放や授業・課外活動への地域住民の参加を進めています。このように地域住民の学習や地域活動への参加・参画は、すべての人に生涯にわたって保証されるものです。

そして、教育には「すべての人」、つまり「万人」がかかわって欲しいとの願いを強調するため、このプランを「ユニバーサルプラン」としました。教育のあらゆる機会や場にすべての人がかかわることができる社会が、「生涯学習社会」と言えます。

また、最近「ユニバーサルデザイン」という言葉がよく使われますが、これは

『年齢、性別、障害の有無、国籍などを越えて、できるだけすべての人が利用しやすい、すべての人に配慮した、環境、建物、施設、製品のデザインをしていこう』

とする考え方です。

この考え方を教育施策に取り入れることによって、単に施設改修などのハード面の整備だけでなく、生涯学習の視点に基づいたソフト事業の整備も進めていきます。

例えば、学校が障害のある子どもを受け入れたり、高齢者との交流や地域との交流を進めることが、子ども自らが社会や人間の多様性、人格の尊厳について考えるきっかけとなります。また、地域社会の課題をそれぞれの分野・機関等の壁を越えて、学習をとおして共有化し、連携しながら取り組むことにより、地域社会がより豊かな生活の場となります。

地域社会の  
すべての人がかかわる

教育 ユニバーサルプラン

## 2 基本的視点

### (1) ユニバーサルデザインの理念を取り入れたひとづくり

高齢者、子ども、学生、障害のある人、生まれ育ったふるさとが異なる人など、多様な人々が集う野々市町においては、「ユニバーサルデザイン」の理念を積極的に取り入れ、

#### ●地域ぐるみで支援し合う学びの空間づくり

#### ●いつでも、だれでも、どこでも、学習できる体制づくり

を基盤にしたひとづくりを進めます。

そのためには、こうした整備のほかに、「地域社会と家庭や学校」「大学と地域社会」「大学と小中学校」「教育施設と社会福祉施設」など、各々の壁を乗り越えた連携が重要です。また、町民の情報活用能力を高め、生涯学習や教育にかかわる情報の共有化や、町内会や公民館、学校区単位での世代間交流などをおして、ユニバーサルデザインの理念を取り入れたひとづくりを進めます。

### (2) 夢をはぐくみ、創造性と個性あふれるひとづくり

一人ひとりが、現代社会を生きていくために必要な知識や技能を身につけ、健康や体力を保持増進し、生きがいとなる教養や芸術文化を深めることにより、夢や希望をもちながら、生涯を通じて自らの可能性に挑戦し自らを高めることができます。そして、その成果をまちづくりに生かすことが、創造性と個性あふれる文化都市の実現につながります。

そのためには、だれでも学習に参画できるまちづくりを進めながら、一人ひとりの多様な学習ニーズに応えた学習機会や学習情報を幅広く提供する体制を確立することが必要です。

また、人間形成にとって最も重要な場である家庭の教育力の充実を図るとともに、子どもたちの健やかで安らかな成長を守るための地域支援も重要です。そのような観点から、子どもや大人の夢と知恵をはぐくみ、創造性と個性あふれるひとづくりを進めます。

### (3) 大学と連携した、学びの「キャンパス・タウン」づくり

野々市町には、金沢工業大学・石川県農業短期大学(17年度には4年制に移行)・金沢工業高等専門学校・放送大学石川学習センターが立地しています。多様化・高度化する住民の学習ニーズに対応するため、その施設設備や人材を活用した学習機会の提供、住民と教員・学生との交流活動など、生涯学習の機会を充実することが重要です。また、学生の社会参画によるまちづくりの活性化、大学と町内の生涯学習施設や小中学校と連携した特色ある学習プログラムの開発なども期待されます。

そのためには、町内及び近隣大学等と行政との連携を一層強め、住民の生涯学習活動を支援することによる「キャンパス・タウン」づくりを進めます。

#### (4) 学びによる「ふるさと・ののいち」づくり

ふるさとのまちに愛着と誇りをもつことによって、まちの文化や環境を大切にする心や、周囲の人への思いやりの心が培われ、やすらぎに満ちたまちとなります。野々市町が「住んだことのあるまち」から「住み続けたいまち」「もう一度住みたいまち」「住んでみたいまち」となることが、5万人都市の実現につながります。

そのためには、野々市町の歴史、文化、風土を見直し、現代の課題を明らかにした「ののいち学」を行政と住民の協働のもと確立するなど、まち全体の学びの風土づくりが重要です。また、ふるさとづくりの核として学校を位置づけ、地域住民の学校への求心力や愛着を高め、地域の風がいきかう特色ある「学び舎」づくりをとおして、学びによる「ふるさと・ののいち」づくりを進めます。



寿大学校・大学院開校式



まちの先生活用事業

### 3 基本目標…生涯学習のまち“ののいち”のすがた

基本理念を達成するために、基本的視点に基づき、次の4点を基本目標として定めます。各基本目標には、それぞれが具体化した形として社会像を設定し、その実現に努めます。

#### ● 基本目標Ⅰ ●

#### 子どもの生きる力をはぐくむまち … 家庭、地域社会での教育の推進

子どもの豊かな人格形成においては、乳幼児期からの家庭での教育が重要です。家族の愛情と信頼関係を土台に、各々の発達段階にふさわしい体験や学習をしながら、子どもは健やかに成長を遂げていきます。

少子化や核家族化が進行する現代社会において、親の孤立化や家庭の教育力の低下が問題になっていることから、子育て学習や情報提供などの啓発活動、子育て支援ネットワークづくり、家庭へのサポートシステムの構築などを積極的に進めます。

地域社会においては、子ども同士の遊びをとおした成長を図るための安全な地域づくりや、それを見守る地域住民の連帯感の醸成が重要です。そのため、地域住民の参画を促しながら、学校外でのスポーツ活動や自然体験、ボランティア活動、文化・芸術活動の機会を増やし、子どもたちの夢をはぐくみながら、個性や可能性を伸ばす取り組みを充実します。また、年々悪化する地域社会の子育て環境に対しては、青少年健全育成団体や住民が一丸となった浄化活動や健全育成の気運を高めます。

このように、家庭教育、地域教育力の充実を図りながら、子どもたちの生きる力をはぐくむまちをめざします。

#### ● 基本目標Ⅱ ●

#### 輝く学び舎をささえるまち … 学校での教育の推進

国や県の教育改革、保護者の価値観や学校へのニーズの多様化、インターネットによる青少年非行の動向の変化など、教育現場や教育行政はその対応に追われています。さらに、子どもの生活や教育を支える家庭環境、増加傾向の不登校児童・生徒、不審者への対策、学校給食の安全対策などの問題も抱え、学校が対処すべき課題が増えています。

学校は、地域社会の人々が夢を託し、光り輝く存在でなければなりません。子どもたちは一人ひとりが輝き、教職員はいきいきと子どもたちと向き合い、学校を取り巻く保護者や地域住民が惜しみなく支援できる学校づくりをめざします。

そのためには、地域社会に根ざした特色ある学校づくりを進め、子どもたちの生きる力を培い、現代社会の新たな課題や地域社会の課題に応える教育を推進します。そして、地域社会の学校への支援、行政が行う教職員への支援や、学校施設の充実を図りながら、本

来の教育の場としての活性化を図ります。また、特別教室・体育施設の地域住民への開放や学校支援ボランティアの導入などを積極的に展開し、地域住民の学校への求心力を高めます。

このように、地域住民と保護者と教職員が協力して、子どもたちがいきいきと学び、学校が地域社会の中で輝くことができる学び舎づくりを支えるまちをめざします。

### ●基本目標Ⅲ●

## 豊かな学びと健やかな人をはぐくむまち … 生涯学習の推進

すべての住民が、自ら意欲的に学習に取り組み、その資質や生活の向上を図り、このまちに住む実感を高めるため、生涯学習関連施設での学習機会の充実や地区公民館等の施設の整備、官民の学習情報の提供、学習相談総合窓口の開設など、学習環境の整備・充実を図ります。さらに生涯学習事業への町内の高等教育機関の参画を進め、学習内容の多様化と高度化を図ります。

また、だれでもが時代の変化に臆することなく確かに生き抜くために、人権や男女共同参画、国際化、高度情報化、環境などの現代的課題を学習する機会も充実します。スポーツ活動や健康づくりにおいても、一人ひとりのニーズや体力に応じた講座の開設や施設の整備を進めます。

こうした学習環境の整備を進めながら、自主的サークル活動への支援、生涯学習ボランティアや指導者・学習リーダーの育成と人材ネットワークの構築を図ります。

このような取り組みをとおして、豊かな学びと健やかな人をはぐくむまちをめざします。

### ●基本目標Ⅳ●

## ふれあいと活力をはぐくむまち … 住民参画によるまちづくりの推進

一人ひとりの生涯学習を進め、自分たちが住む地域をより住みやすくし、地域の課題を解決するまちづくり活動の伸展を図ります。そして、町の伝統文化や歴史的遺産、風俗を活用した文化活動、多くの住民が結集できる創造的なスポーツ・芸術・文化活動、個性的なまちづくり活動など、住民の学習活動を支援することで地域コミュニティの活性化を図ります。

また、性別・年齢・障害の有無に関わりなくすべての町民がまちづくりに参画できる体制を整えます。特に、だれでもが自らの任務、役割、使命を果たすことができるよう、青少年や若年層の発想による提案、中高年層の知恵や技能を生かした取り組みや高齢者の社会参加を進めます。

このような活動が展開されるコミュニティづくりを進めながら、ふれあいと活力をはぐくむまちをめざします。